

セレスアモス宮前店オープン ～園芸資材店を併設～

10月27日、JAセレスアモス川崎のファーマーズマーケット「セレスアモス」に「宮前店」がオープンした。麻生店に続き2店目。セレスアモス出荷登録農家447名（9月末現在）が生産する、川崎産農産物ブランド「かわさきそだち」を中心に、花卉、農家の加工品や提携JA商品などを取り扱っていく。また、併設の「園芸館」では家庭向け生産資材を豊富にそろえた。鉄骨2階建てで、1階直売所の売場面積は297.1㎡、惣菜作り等に対応できる「加工場」を用意。

2階の多目的ホールは会議や料理教室などでJA組合員の利用を想定する。太陽光発電システムや遮熱・断熱効果の高いガラスを採用など、環境にも配慮した。東急田園都市線の宮崎台駅から徒歩約6分と利便性が高く、114台収容の駐車場を完備する。

行列を作りオープンを待つ来店者を前に、JAセレスアモス川崎の柴原裕組合長は、『「川崎市を中心にセレスアモスを」という地域の皆さんや生産者の要望を受け、宮崎台での開店に至った。消費者と生産者、需要と供給が直接出会う場所として、互いに納得できる価格で、安全安心な農畜産物を提供し、地産地消、川崎農業や都市農業の振興への期待にJAとして応えていく」と挨拶した。

来店者のひとは「新鮮で大きくきれいな野菜がいっぱいあり期待どおり。この価格なら、今後野菜はここで買う」と品揃えに満足した様子だった。オープンを記念し、三浦半島産の大根やパールライス米の無料配布、提携JAの農産物詰め放題などが行われた。

これまで「セレスアモス」は売上全体の約7割を川崎産が占めてきた。2店舗になった事で、地場産率は5割程度になると予想されるが、今後も地場産率の向上につとめる。合わせて、県内JAと協力しあい、「県産率」の向上も意識していく方針。

直売所に併設された「園芸館」は、全農かながわの委託店舗で、家庭菜園や市民農園を楽しむ直売所利用者の需要取り込みを目指す。農業の専門知識がなくても扱える、園芸資材や小農具を中心に約700点を用意。育苗資材、マルチ、支柱など一部資材は、農家向け商品を少量規格で用意するなど、品揃えにJAらしさをのぞかせる。全くの初心者でも、知識豊富な常駐スタッフが買い物の相談に応じる。大容量規格などJA組合員向けの資材は、車で約5分の距離にある同JAの「経済センター」で対応していく。

開店初日、直売所での買い物を終え「園芸館」に立ち寄った来店者は、「カラフルなフード付の帽子や園芸用衣類など珍しい品があって良い感じ。マンションでプランター栽培をしているので、また冬野菜の種など買いに来たい」と話した。



開店と同時に買い物客であふれた「セレスアモス宮前店」



直売所利用者向けに園芸資材を揃えた「園芸館」



セレスアモス宮前店/川崎市宮前区宮崎 2-1-4
営業/10:00～18:00、定休/水曜・年末年始他、電話 044-853-5011